

指定管理者運営評価シート

年度	平成28年度
所管課	文化振興課

1 公の施設

公の施設名称	佐賀市文化会館
所在地	佐賀市日の出一丁目21番10号
施設概要	(1)敷地面積 34,008.57㎡ (2)延床面積 18,464.13㎡ (3)建物構造 鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地上4階、地下1階 (4)開館 平成元年10月 (5)貸室等内容 □大ホール(1,811席)、□中ホール(814席)、□イベントホール(492㎡) □リハーサル室(204㎡)、□練習室(3室)、□会議室(3室)、□和室 □駐車台数 500台

2 指定管理者

指定管理者	団体名	公益財団法人 佐賀市文化振興財団	指定期間	開始日	平成28年4月1日
	所在地	佐賀市日の出一丁目21番10号		終了日	平成33年3月31日
選定方法	非公募		利用料金の採否	採	

3 指定管理者の管理の実施状況等

①施設の運営業務	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理マニュアルに基づき、避難誘導訓練を年2回実施した ・施設賠償責任保険に加入し、利用者の万一の事故等に備えた ・顧客情報、機械設備の管理情報等については適正な管理を行った ・施設の管理運営上必要な支払い、出納帳簿の作成等の経理処理を適切に行った ・事業内容を定期的に見直し改善を図るため、第三者評価委員会の評価を年2回受けた ・施設の利用案内、利用料金の收受など貸館業務を適切に行った ・広報誌「新風」の作成、ホームページ、Facebookによる広報を行った ・自主文化事業、市民芸術祭を企画・実施し、芸術文化の重要性の普及に努めた ・第1次佐賀市文化振興基本計画の重点事業である「文化・芸術人材バンク」を開始した
②施設の維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な保守点検、修繕等を実施し、利用者の安全確保、快適な環境整備に努めた 常駐業務: 舞台操作、清掃、警備、設備管理 保守点検等業務: 空気環境測定、衛生害虫駆除、冷却塔保守点検、ばい煙測定、電気設備保守点検、消防用設備保守点検、自家用工作物保安業務、中央監視盤保守点検、エレベーター保守点検、冷温水機保守点検、冷凍空調機保守点検、舞台機構保守点検、舞台照明保守点検、舞台音響保守点検、電話設備保守点検、自動ドア保守点検、外国ピアノ保守点検、国産ピアノ保守点検、自家発電設備保守点検、防火シャッター保守点検、ピーマック保守点検、樹木等管理業務、駐車場整理業務 ・利用者アンケート調査を実施し、今後の施設管理に役立てるための改善点を把握した
③指定管理者の提案による取り組みとその実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的なコーヒー自動販売機を追加設置して利用に供した ・利用者へのサービス向上のために喫茶・レストランの業者選定を行った ・アウトリーチの取り組みを不登校や発達障がい等を受け入れる学校、福祉施設、フォレストふじに広げた ・事務局を務めた第4回佐賀市民芸術祭の入場者数が目標の1万人を超えた ・助成金を受けるオフィシャルパートナー企業が11社から6社に減少したが、第三者評価委員会の意見を参考にして営業活動を行った

施設利用状況(量)を示す指標名	単位	指定期間中の実績				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
① 利用者数	人	(377,389)	390,024			
② 利用率	%	(70.27)	72.47			
③ 利用料金収入	千円	(105,731)	105,730			
④ 主催事業企画数	件	(15)	13			
⑤ 文化事業入場者数	人	(20,141)	11,244			

4 利用者ニーズ・満足度等の把握(実施していない場合は、その理由)

①利用者ニーズ・満足度等の把握実施方法	
基本協定書第31条に規定された利用者アンケート(年1回)及び自主文化事業のアンケートを実施したほか、「提案箱」を文化会館2階ロビーに設置し利用者の意見を集約した。また、文化会館宛の手紙、Eメール、電話による要望等を受けた。	
②ニーズ等の把握結果	③把握結果等への対応状況
大ホール客席椅子の汚れ	前年度に引き続き、座面の布地張替を63脚行った。
エントランスロビーのタペストリーが、色落ちや汚れが目立つ	クリーニングするのは困難なので、撤去した。
レストランのグレードアップ	H29年4月からレストランのグレードアップを図るために、公募で業者を選定した。

5 指定管理料およびその内訳(指定管理者の収入)

(単位:千円)

区分	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度決算	平成32年度決算
指定管理料	139,007				
うち修繕費	6,419				
うち備品費					
うち光熱水費	47,523				
摘要(補足説明等)					

6 使用料等の収納状況(市の収入)

(単位:千円)

区分	平成28年度決算	平成29年度決算	平成30年度決算	平成31年度決算	平成32年度決算
使用料	651				
光熱水費等使用者負担金収入					
その他の収入					
合計	651	0	0	0	0
摘要(補足説明等)	・行政財産目的外使用料 レストランの運営にかかる建物・土地の使用料 ガス整圧器室の設置にかかる土地の使用料				

7 指定管理者の自己評価

施設・附属設備、備品の維持管理や修繕及び使用料徴収業務を適正に行い、利用者への積極的なサービスに努め、利用率が前年度より上昇した。
 利用率が低かった特別会議室に、長机と椅子も入れて20名規模の会議もできるようにし、利用率向上につながった。
 ホームページ、新風、フェイスブック、MOTEMOTEさが等による広報活動に努めた。
 自主事業は、企画・事業実施の取り組みが不十分だったため、入場者数は目標に届かなかった。アウトリーチを学校以外の福祉施設3か所、富士町1か所で実施した。
 第4回市民芸術祭の事務局として取り組み、入場者目標の1万人を達成することができた。
 第1次佐賀市文化振興基本計画の「佐賀市文化・芸術人材バンク」を開始した。
 オフィシャルパートナーが前年度の11社から6社に減った。次年度に向けて各職種の企業に営業し、また増えるように努力する。
 佐賀市清掃工場のバイオマス発電により発電した電力を利用し、当初の見込み以上の経費節減となった。

8 市による指定管理者の評価

事業内容を定期的に見直し、改善を図るための第三者評価委員会の意見を事業改善に生かされ、オフィシャルパートナー獲得やフェイスブックによる広報を進められた。利用率が低かった特別会議室に長机と椅子を入れて会議利用ができるように工夫し、利用率を上昇させた。自主文化事業は、アウトリーチ先に福祉施設や公民館を選ばれ、多様性が出ていることが第三者評価委員会で高く評価されたが、たえず新しい視点から取り組みが必要などの意見もあるので、事業実施の参考にしていきたい。